

ゴリアス号の奇跡 (1981)

GOLIATH AWAITS

メディア TVM

ジャンル SF アドベンチャー

製作国 アメリカ

時間 183分

公開情報 劇場未公開・ビデオ発売

【解説】

1939年、ロンドンを出航した全長300メートルの豪華客船ゴリアス号はUボートによって攻撃され、乗客乗員337名を乗せたまま大西洋に沈んだ。それから40年後、海洋学者ライカー（M・ハーモン）は深海に眠るゴリアス号の舷側から明かりが洩れているのを目撃する。理由ははっきりしないものの、船内に生存者のいる可能性があるを知った米海軍はセルカーク中佐（R・フォスター）を隊長に、探索隊を組織した。しかしゴリアス船内に到達したはずの先発隊は帰投せず、今度はセルカークとライカーたちが乗り込む事になった。はたしてゴリアス船内では何十人にもおよぶ生存者がいた。三等機関士のマッケンジー（C・リー）の指揮の下、彼らは沈没の危機を叡智で乗り越え、海水から酸素を抽出し現在まで生き延びていたのだ。一行は手厚く歓迎されるが、船内には反乱分子まで存在しており、その不穏な空気はただ事ではない事を伝えていた。そしてライカーたちは、マッケンジーと彼の腹心ウェスカーが秘密警察まがいの行動で船内を独裁している事を知るのだった……。

沈没船内で40年も生き長らえていた生存者というホラ話自体に目くじらさえ立てなければ（SFだと思えば大丈夫）、演出のヒキ具合や、ミステリー・タッチなど、見せ場的には盛り沢山で、長尺TVムービーとしてはよくまとまっている。

【クレジット】

監督	ケヴィン・コナー	Kevin Connor
製作	ヒュー・ベンソン	Hugh Benson
製作総指揮	ラリー・ホワイト	Larry White
共同製作	リチャード・ブリュエル	Richard Bluel
原案	ヒュー・ベンソン	Hugh Benson
	リチャード・ブリュエル	Richard Bluel
	パット・フィールダー	Pat Fielder
脚本	リチャード・ブリュエル	Richard Bluel
	パット・フィールダー	Pat Fielder
撮影	アル・フランシス	Al Francis
音楽	ジョージ・ダニング	George Duning
出演	マーク・ハーモン	Mark Harmon
	ジョン・キャラダイン	John Carradine
	クリストファー・リー	Christopher Lee
	ジーン・マーシュ	Jean Marsh
	エディ・アルバート	Eddie Albert
	アレックス・コード	Alex Cord
	ロバート・フォスター	Robert Forster
	フランク・ゴーシン	Frank Gorshin
	ジョン・マッキンタイア	John McIntire

ジャネット・ノーラン	Jeanette Nolan
ダンカン・レガー	Duncan Regehr
エマ・サムズ	Emma Samms
アラン・ファッジ	Alan Fudge
ジョン・ラッツエンバーガー	John Ratzenberger
マイケル・エヴァンス	Michael Evans
アイリーン・ハーヴェイ	Irene Hervey